

「大きな不確実さを抱える経済・市場の現状と 展望－政策不確実性指標をもとに」

経済概況説明資料

第19回ハイライトセミナー

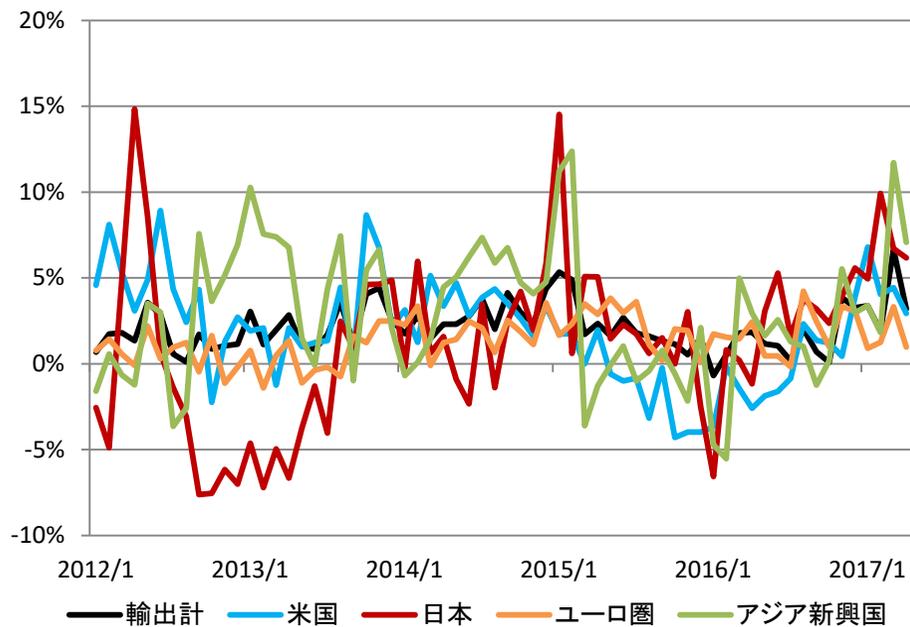
2017年7月11日

中島厚志

独立行政法人経済産業研究所 理事長

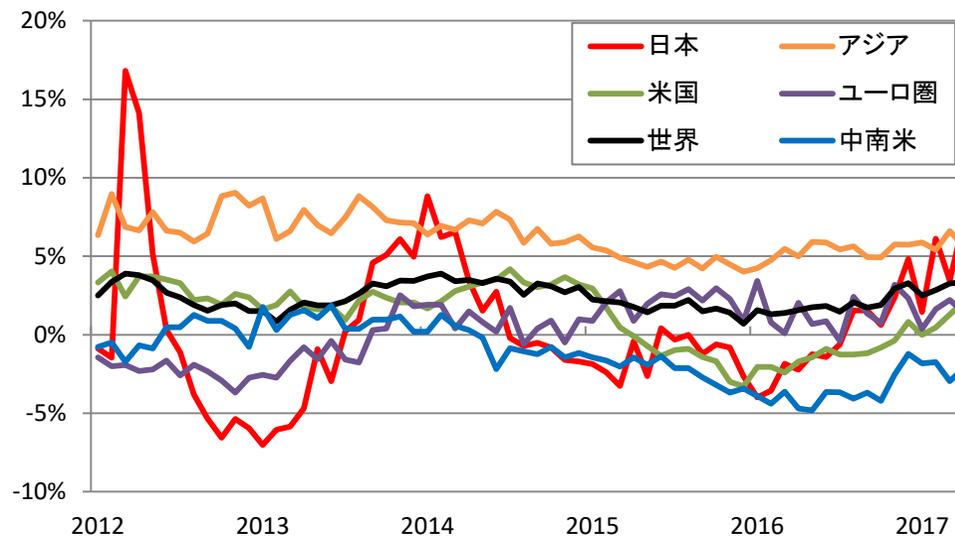
○ 世界経済の回復は鮮明。世界の輸出(数量)は拡大。主要国・地域の鉱工業生産も、中南米を除き全般的に回復傾向が持続

【 主要国・地域の輸出数量の推移 】



(注)前年同月比
(出所)CPB World Trade Monitor

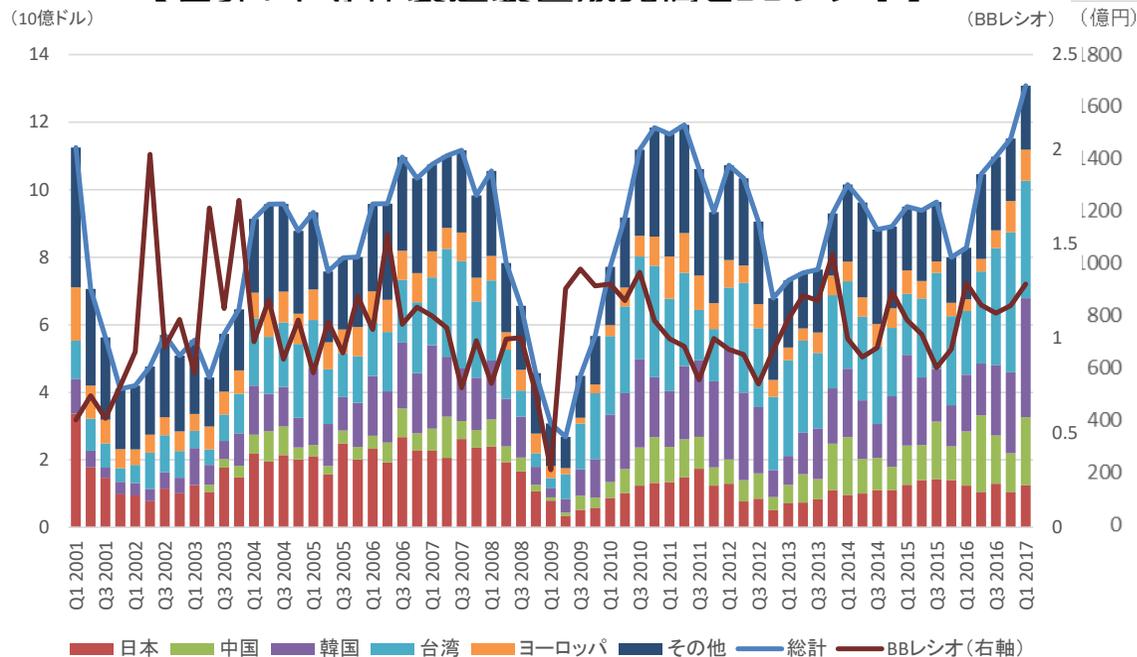
【 主要国・地域の鉱工業生産伸び率 】



(注)前年比
(出所)CPB World Trade Monitor

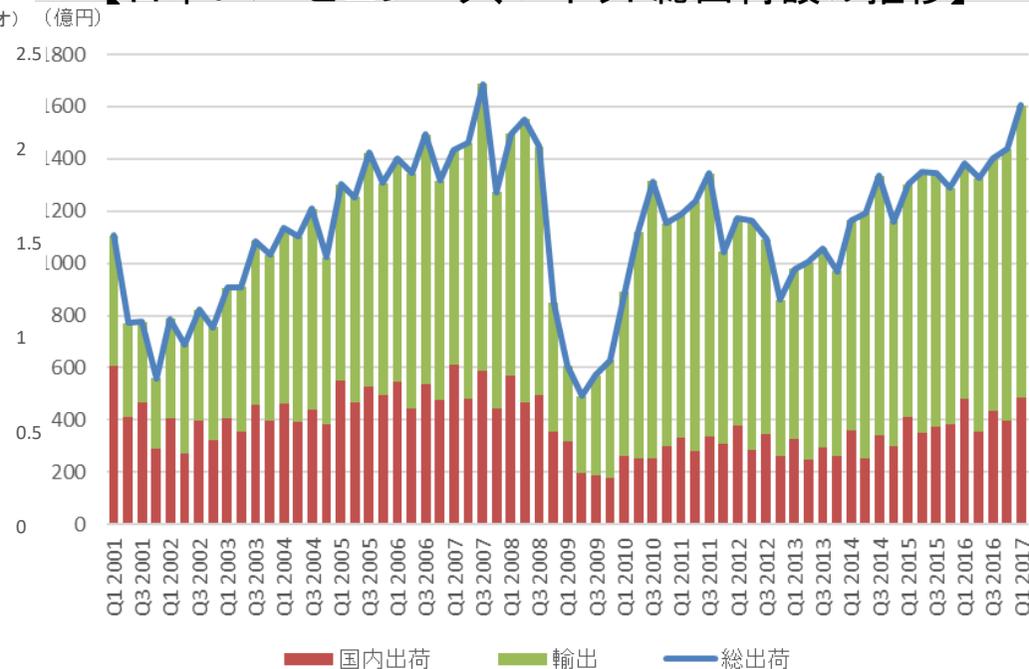
○ハイテク製品の設備投資急増を反映して、半導体製造装置販売高やロボット総出荷額は過去1年あまり急増。
半導体装置の受注高/販売高を示すBBレシオも2015Q3(0.84)を底に2017Q1は1.29と1を超える水準

【世界：半導体製造装置販売高とBBレシオ】



(注)BBレシオは、半導体装置の受注額を販売額で割った割合。3か月平均
(出所)日本半導体製造装置協会

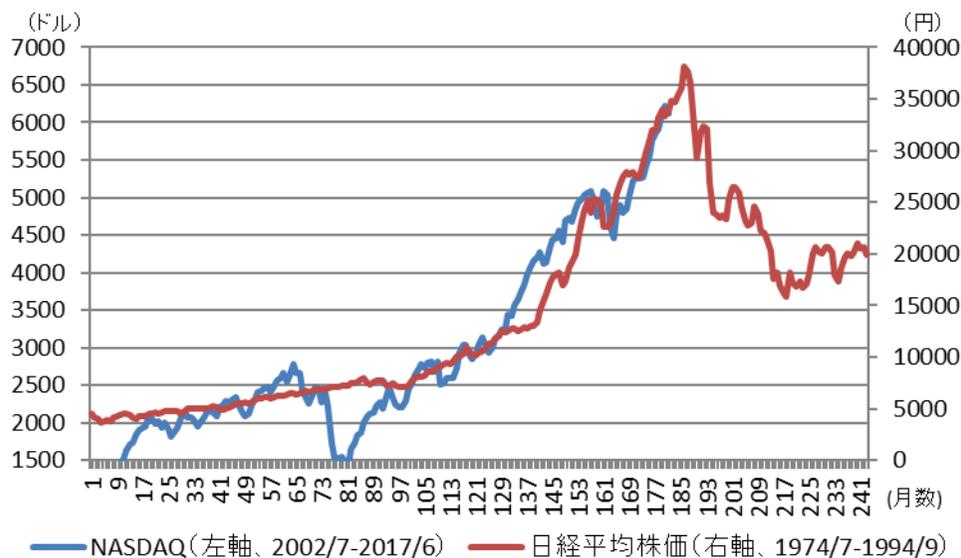
【日本：マニピュレータ、ロボット総出荷額の推移】



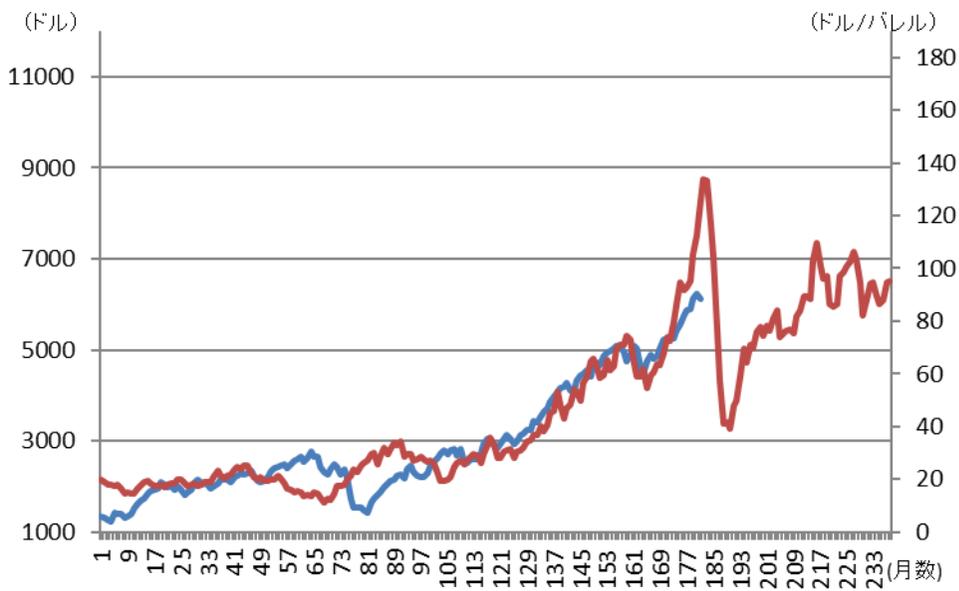
(出所)日本ロボット工業会

○ ただし、NASDAQ株価指数の上昇率は、過去のバブル期の日経平均株価や価格高騰時の原油価格と同じように急ピッチ。不動産バブル期の日本株、価格急騰時の原油価格ほどではないものの、一時的な調整があってもおかしくないように見える状況

【米国：NASDAQ株価とバブル期の日経平均株価の推移】 【米国：NASDAQ株価と高騰期の原油価格の推移】



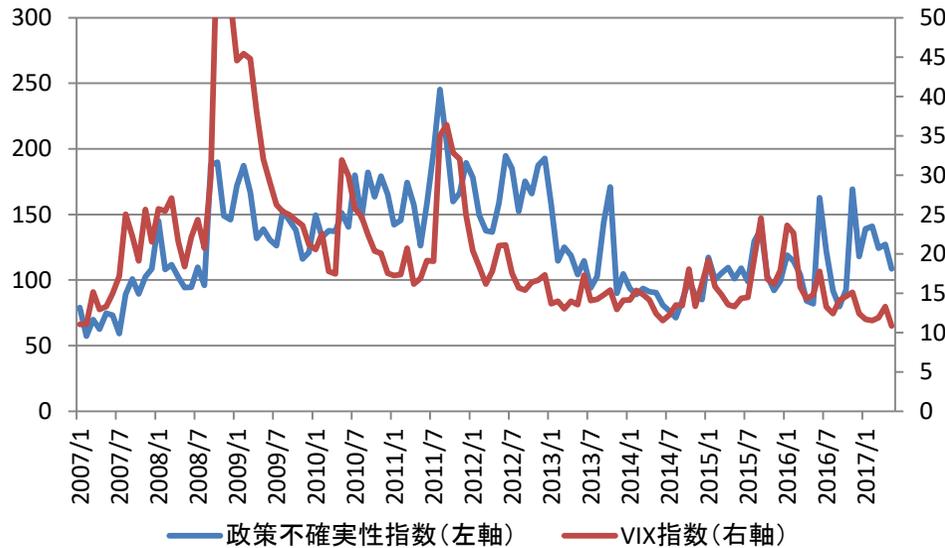
(出所)NASDAQ、日経



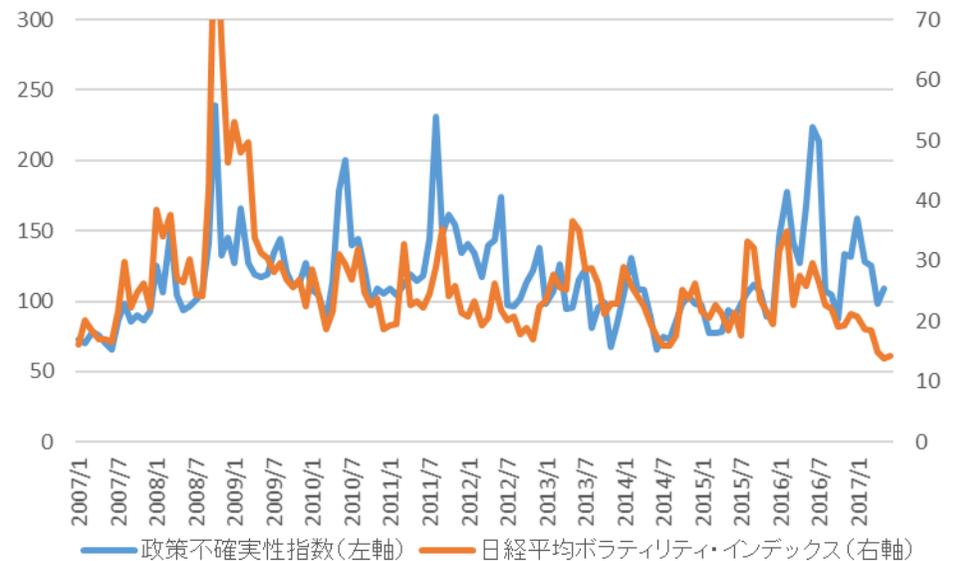
(出所)NASDAQ、米エネルギー省

- 政策不確実性の高まりに対して株価のボラティリティは大きく低下しており、ショック時の変動が大きくなる可能性が増大

【米国：政策不確実性指数とVIX指数】



【日本：政策不確実性指数と日経平均VI】



(注) 政策不確実性指数は、主要紙に掲載された、不確実性を表す用語が含まれる経済・金融・政策に関する記事の総記事数に占める割合を季節調整し、米国については1985/1～2009/12、日本については1987/1～2015/12までの平均値が100となるように調整した指数

(出所)RIETI